

農業倉庫関係法令

CZ-431-64



\*1200901599207\*



CZ  
431  
64

禁電子式複写



Kodak Gray Scale



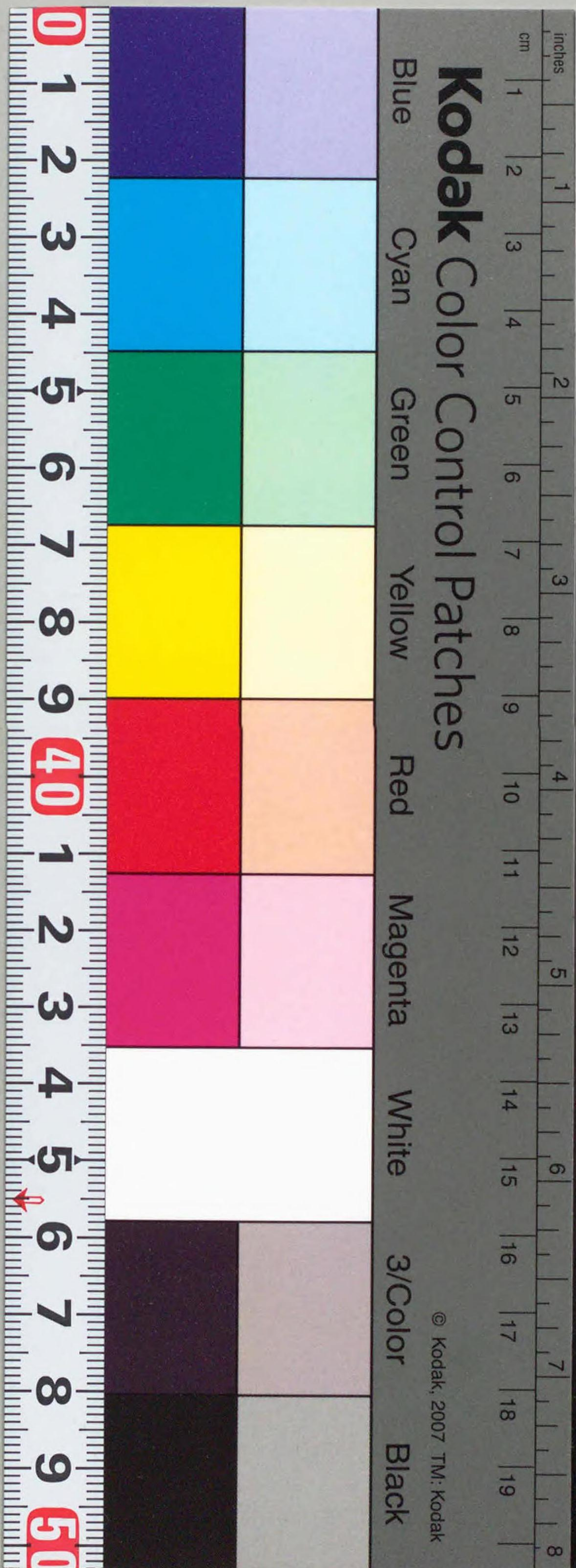
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak









147  
172

農業倉庫關係法令



08  
431  
029

14.7-172



目次

農業倉庫業法	一頁
農業倉庫業法施行期日ノ件	五
農業倉庫業法施行規則	七
農業倉庫獎勵規則	一一
準用條文	一三
農業倉庫業法實施ニ關シ農商務大臣内訓ノ件	二一
産業組合法	二三
産業組合法施行規則	四九
農會法	五七
農會令	五九
農會令施行規則	七一
民法(公益法人ニ關スル規定)	七三
社團又ハ財團法人設立ノ件	八五
政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件	八五

大正  
8.8.7  
内交



政府ニ於テ農會、畜産組合又ハ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ  
依ルコトヲ得ルノ件……………八六

別表(公益書附二關録)……………八七

收支計算書及事業報告書様式……………一〇〇

農業倉庫業務規程及公益法人定款例……………一〇〇



### 農業倉庫業法 (大正六年七月二十日公布法律第十五號)

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物若ハ繭ヲ、又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル穀物ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限リ之ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ他ノ農業倉庫業者カ前二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

- 一 受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ヲ爲スコト
- 二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
- 四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 五 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト



第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 産業組合カ農業倉庫業者タルトキハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

産業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號及第五號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農會又ハ公益法人カ農業倉庫業者タルトキハ第二條第四號及第五號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項又ハ第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項又ハ第三項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第四項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章及第九章第二節ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞ア



リト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違

反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十二條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十三條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十四條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十五條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十六條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十七條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十八條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第十九條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス  
第二十條 前條第三項ノ規定ニ基キテ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違  
反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

農業倉庫業法施行期日ノ件 (大正六年八月二十日公布勅令第一百十號)

農業倉庫業法ハ大正六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス



農業倉庫業法施行規則  
大正六年八月十五日公布農商務省令第十五號

### 農業倉庫業法施行規則 (大正六年八月十五日公布農商務省令第十五號)

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
- 七 附屬ノ設備ニ關スル事項
- 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法
- 九 起業費及一箇年ノ收支概算
- 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面
- 十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄



第二條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

八

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 他ノ農業倉庫業者又ハ倉庫業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ農業倉庫業者又ハ倉庫業者ノ名稱
- 八 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 九 證券發行ニ關スル規定
- 十 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十一 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十二 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十三 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 産業組合ニ於テ組合員ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定

第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 混合保管ノ範圍
- 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

第四條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第五條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地又ハ棟數ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第八條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第九條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條及第十七條ノ行政官廳ハ農商務大臣及地方長官トス



農業倉庫業法第十六條ノ行政官廳ハ産業組合、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農商務大臣、地方長官及郡長トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ農商務大臣及地方長官トス

附則

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農商務大臣之ヲ行

フ

農業倉庫獎勵規則

(大正六年八月十五日公布農商務省令第十六號)

第一條 農商務大臣ハ農業倉庫獎勵ノ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ニ掲クル道廳府縣ノ補助金ニ對シ道廳府縣ニ之ヲ交付ス

一 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付

道廳府縣ノ交付スル補助金

二 農業倉庫業者農業倉庫ヲ建築、改築若ハ修繕シ又ハ買入レムトスル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付

郡、市町村若ハ之ニ準スヘキモノ、農會又ハ地主會等ノ交付スル補助金ニ對シ道廳府縣ノ交付スル補

助金

第三條 補助金ノ額ハ農業倉庫ノ建築、改築若ハ修繕又ハ買入ニ要スル費用ノ二割以内トシ且道廳府縣ノ

負擔額ヲ超エサルモノトス

第四條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル道廳府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農商務大

臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ前年度ノ補助金交付申請書ニ添附シタルモノト變更ナキ規程ハ之ヲ添附スルヲ

要セス

一 補助金豫算書及其ノ説明書

二 補助金交付ニ關スル規程



第五條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ前條ノ補助金豫算書又ハ規程ヲ變更セムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ前條但書ノ規定ニ依リ添附セサリシ規程ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ハ當該年度ニ於ケル補助金ノ決算及交付ノ成績ヲ翌年度六月末日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ第七條ノ規定ニ依ル義務ノ存スルトキ亦同シ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クル道廳府縣ニシテ補助金豫算書ニ定メタル補助金ノ交付ヲ當該年度内ニ終了シ得サルトキハ年度後ニ於テ之ヲ繼續交付スルノ義務アルモノトス

第八條 道廳府縣第七條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ補助金交付ノ成績不良ナリト認ムルトキハ農商務大臣ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得

本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第四條中前年度二月末日トアルハ大正六年度ニ限り大正六年十一月末日トス

農業倉庫業法第十一條關係  
第一 農業倉庫業法第十一條關係  
第二 補助金ノ交付ニ關スル事項  
第三 補助金ノ交付ニ關スル事項  
第四 補助金ノ交付ニ關スル事項  
第五 補助金ノ交付ニ關スル事項

### 準 用 條 文

#### 農業倉庫業法第十一條關係

#### 第三編 商 行 爲

#### 第五章 仲 立 營 業

第三百五條 仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百六條 仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七條 仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取りタルトキハ其行爲力完了スルマテ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第三百八條 當事者間ニ於テ行爲力成立シタルトキハ仲立人ハ遲滯ナク各當事者ノ氏名又ハ商號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作り署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付スルコトヲ要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名セシメタル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ遲滯ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九條 仲立人ハ其帳簿ニ前條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三百十條 當事者カ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ第三百八條第一項ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス

第三百十一條 仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ之ニ對シテ自ラ履行ヲ爲ス責ニ任ス

第三百十二條 仲立人ハ第三百八條ノ手續ヲ終リタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス



仲立人ノ報酬ハ當事者双方平分シ之ヲ負擔ス

### 第六章 問屋營業

第三百十三條 問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百十四條 問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得義務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及代理人ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百十五條 問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付相手方カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ス

但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百十六條 問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲シタル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其効力ヲ生ス

第三百十七條 問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ賣買ノ代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第三百十八條 問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ買入レタル物品ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第三百十九條 第三十七條及第四十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス

第三百二十條 本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス

### 第七章 運送取扱營業

第三百二十一條 運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

運送取扱人ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外問屋ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百二十二條 運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管、運送人又ハ他ノ運送取扱人ノ選擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百二十三條 運送取扱人カ運送品ヲ運送人ニ引渡シタルトキハ直ニ其報酬ヲ請求スルコトヲ得

運送取扱契約ヲ以テ運送貨ノ額ヲ定メタルトキハ運送取扱人ハ特約アルニ非サレハ別ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百二十四條 運送取扱人ハ運送品ニ關シ受取ルヘキ報酬、運送貨其他委託者ノ爲メニ爲シタル立替又ハ前貸ニ付テノミ其運送品ヲ留置スルコトヲ得

第三百二十五條 數人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス場合ニ於テハ後者ハ前者ニ代ハリテ其權利ヲ行使スル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ後者カ前者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得ス

第三百二十六條 運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ權利ヲ取得ス

第三百二十七條 運送取扱人ハ特約ナキトキハ自ラ運送ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ運送取扱人ハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

運送取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作リタルトキハ自ラ運送ヲ爲スモノト看做ス

第三百二十八條 運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ之ヲ起算ス

第三百二十九條 運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百三十條 第三百二十八條及第三百四十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス

### 第九章 寄託

#### 第二節 倉庫營業

第三百五十七條 倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百五十八條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ買入證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第三百五十九條 預證券及ヒ買入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

二 寄託者ノ氏名又ハ商號



三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七 證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十條 倉庫營業者カ預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ

請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人ノ負擔ス

第三百六十二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ

依ル

第三百六十三條 (削除)

第三百六十四條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ

禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

第三百六十五條 第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場

合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十七條ノ三 質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十八條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス

第三百六十九條 質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條 倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租稅、保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立替

金ヲ控除シタル後其殘額ヲ質入證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

競賣代金ノ中ヨリ前項ニ掲ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シ

タル後餘剩アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條 競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部辨濟スルコト能ハサリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ

質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條 質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尙ホ不足アルトキハ其ノ裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ

得第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタル不

足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ

日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條 質入證券所持人ノ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨

濟ヲ受ケタル日ヨリ六ヶ月質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リ

テ消滅ス

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ抽出ヲ求メ又



ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得  
質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニアラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但己ムヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期迄ノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十一條 寄託物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ且分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ其割合ニ應シテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ヒ返還シタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百八十二條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十三條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十四條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十五條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十六條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十七條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十八條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百八十九條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十一條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十二條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十三條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十四條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十五條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十六條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百九十七條 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三編 商 行 爲

第九章 寄 託

第九條 農 業 倉 庫 法 第 十 二 條 關 係

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニアラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但己ムヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期迄ノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

非訟事件手續法

第二百六條 民法第八十四條、第千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス



第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
 裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ  
 當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス  
 手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス  
 抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス  
 過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

### 農業倉庫業法實施ニ關シ農商務大臣内訓ノ件

(大正六年九月五日農第八六六五號)

- 一 農業倉庫業ヲ認可シタルトキハ業務規程及農業倉庫業法施行規則第一條ノ添附書類ヲ具シ其ノ旨報告スヘシ
- 二 業務規程又ハ農業倉庫ノ所在地若ハ棟數ノ變更ヲ認可シタルトキハ其ノ事項ヲ具シ其ノ旨報告スヘシ
- 三 收支計算書及事業報告書又ハ事業施行ニ關スル規程ノ届出アリタルトキハ其ノ謄本ヲ具シ其ノ旨報告スヘシ
- 四 公益上必要ナル命令ヲ發シ、事業ノ停止ヲ命シ若ハ認可ヲ取消シタルトキ又ハ事業ノ休止若ハ廢止ノ届出アリタルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ旨報告スヘシ
- 五 農業倉庫業ノ認可ニ際シ事ノ異例ニ屬スルモノハ豫メ本省ニ打合ヲ爲スヘシ
- 六 從來地主會、匿名組合等ニシテ農業倉庫ヲ經營スルモノハ此ノ際成ルヘク其ノ組織ヲ産業組合又ハ公益法人ニ改ムル様指導スヘシ
- 七 農業倉庫ノ敷地ニ關シ地方長官限リ處分シ得ルモノニ付テハ成ルヘク便宜ヲ與フヘシ
- 八 農事倉庫業ノ事務及會計ノ狀況ニ付テハ成ルヘク毎年少クトモ一回部下ノ官吏又ハ職員ヲシテ之ヲ







ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得又組合員ノ同一市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

第二章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 組織

三ノ二 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法



- 九 組合員タル資格ニ關スル規定
- 十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
- 十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由  
信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ
- 第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス
- 第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ  
出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ滯滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ
- 第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
- 第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ
  - 一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項
  - 二 設立許可ノ年月日
  - 三 理事及監事ノ氏名、住所
- 前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第  
三者ニ對抗スルコトヲ得ス

- 第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但  
シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス
- 第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス
- 第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原  
簿ヲ提出スヘシ
- 前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ滯滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記  
ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ
- 第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ  
爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタル  
トキハ此ノ限ニ在ラス
- 前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ滯滞ナク各事務所所在地ニ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲ス  
ヘシ前項但書ノ場合亦同シ
- 第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地  
方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ
- 第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ



一 出資ノ總口數

二 拂込ミタル出資ノ總額

三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所ニ於テ非シテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額

四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額

登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六 第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ

前條第一項第一號及第二號ニ掲ケタル事項並組合員ノ氏名及住所ニ付テハ變更ノ生シタル事業年度ノ終

ヨリ二週間内ニ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ

加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長

官ハ遲滞ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依

リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面

ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決

議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ

定ムヘシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在

ラス



第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 各組合員ノ氏名、住所

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サルハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス



第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及  
貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法

ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタル

モノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少ス

ルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立

ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金ト

シテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済ス

ルコト能ハサルトキハ各理事連帶シテ之ヲ辨濟スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總會ノ同意アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總會ノ對シ加入ニ異議アラハ二週間ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フ



ヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其ノ豫告ヲ爲スヘシ  
前項ノ豫告時期ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

- 第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス
  - 一 組合員タル資格ノ喪失
  - 二 死
  - 三 破産
  - 四 禁治産
  - 五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム  
除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス  
第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム  
但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス



第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得  
第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併
- 四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ
- 五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス  
第二十八條ノ規定ハ前項ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利



義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

### 第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第七十四條ノ二 清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

### 第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト（信用組合聯合會）

二 所屬組合ノ賣卸スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト（販賣組合聯合會）

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却スルコト（購買組合聯合會）

四 所屬組合カ其ノ組合員ニ利用セシムル設備ヲ所屬組合ニ供給スルコト（生産組合聯合會）

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北海道拓殖銀行又ハ農工銀行ニ對シ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得



前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀行ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任ノ二種トスニシテ至極四種ノ産業組合聯合會ヲ加入シテ保證責任産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルニ當リ上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第七十九條第二項ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ登記スヘキ事項ノ届出、組合原簿ノ提出及送付並登記ノ囑託ニ關スル規定中地方長官トアルハ合併後存続スル産業組合聯合會又ハ合併ニ因リテ設立シタル産業組合聯合會ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非シテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ  
産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得



第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

四二

一名稱

二 事務所

三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定

四 會員ノ權利義務ニ關スル規定

五 資産ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會員ニ關スル規定

八 事業ノ執行ニ關スル規定

九 定款ノ變更ニ關スル規定

十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項

三 資産ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中地方長官トアルハ主務大臣トス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業聯合會ノ理事、監事及第八十五條

第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス

第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條乃至第七條、第十條、第十五條、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二

十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二

條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條

四三



第二項、第九十三條ノ二及第九十四條並民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中並第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

背シタルトキ

- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サヌ又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ
- 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ
- 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十條ノ規定ニ依ル責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ
- 十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所産業組合聯合會及産業

組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス



嘱託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所

二 登記ノ目的及事由

三 年月日

四 登記所ノ表示

第九十九條 設立登記ノ嘱託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ嘱託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テ

ハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 (削除)

第一百一條 (削除)

第一百二條 (削除)

第一百三條 (削除)

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル

事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百五條 非訟事件手續法條百三十八條、第三百三十八條ノ二、第四百十一條乃至第四百十六條、第四百十

八條、第四百四十八條ノ二、第五百十一條乃至第五百五十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十八條、第百

六十五條及第七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第一百六條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、

島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

第一百七條 (削除)

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年十月二十六日勅令第九十九號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行ス)

本法施行前ニ登記シタル産業組合及産業組合聯合會ニシテ定款ニ區域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本

法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ嘱託スヘシ



産業組合法施行規則

(明治四十二年八月二十一日農商務省令第三十五號  
(沿革)大正六年十月二十七日農商務省令第三十號改正)

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス

豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ亦同ノ第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百人以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス



總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受ク

ルコトヲ得ス

第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト

區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ理事又ハ清算入署名捺印スヘシ

前項ノ届書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ四 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ

其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏、名又ハ住所ノ變更ハ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ産業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組

合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ

種類別ノ數並出資口數ノ異動

二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額

三 損益ノ計算並借入金及其ノ償還

三ノ二 準備金及各種ノ積立金

四 總會又ハ總代會ノ決議

五 事業ノ狀況

六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタ

ル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合

法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣

組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會

ニ在リテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニ在リテハ生産シタル物ノ種目

別ノ數量又ハ加工若ハ利用ノ功程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニ在リテハ利用ノ功程ヲ表示

スヘキ事項

六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、

六ノ三 受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率



六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ貯金ノ種類毎ニ職業別及金額別ノ口數、金額、組合員外ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額

七 處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ

第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表、産業組合法第四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト並同法第四十一條ノ規定

ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項ノ場合ニ在リテハ理由書及總組合員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添

附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者

ノ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ  
産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總



組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ  
 第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脫退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツハシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算終了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第二十條 本則中農商務大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農商務大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農商務大臣及大藏大臣トス

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



第五條 農會補助ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

### 農 會 法

(明治三十二年六月八日法律第百三號)

(沿革)明治四十三年三月二十四日法律第十九號改正

- 第一條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲メニ設立スルモノトス
- 第一條ノ二 農會ハ市町村農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス
- 第二條 農會ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 農商務大臣ハ其ノ定ムル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得
- 第四條 (削除)
- 第五條 農會補助ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス
- 附 則
- 第六條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス



第六節 本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

附 則

第一條 農會事務ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金幣ハ一箇年十五萬圓ヲ越スルコトモ得ス

第二條 農會事務ノ爲メ國庫ヨリ支出スル金幣ハ一箇年十五萬圓ヲ越スルコトモ得ス

第三條 農會ニ關スル命令ハ以テ之ニ從フ

第四條 農會ハ山田林農會、湖農會、並ニ湖農會又帝國農會トス

第五條 農會ハ農事ノ進歩ヲ爲メ設立スルコトヲ得

(沿革) 明治三十三年三月二十七日勅令第三十五號

農 會 法

農 會 令

(明治三十八年十月二十七日勅令第二百二十五號)

(沿革) 明治四十三年九月二十七日勅令第三百五十二號改正

第一條 農會ニハ帝國農會、北海道農會、府縣農會、郡農會又ハ市町村農會ノ名稱ヲ附スヘシ但シ島司ヲ置キタル島嶼ニ在リテハ島農會、北海道又ハ沖繩縣ノ區ニ在リテハ區農會、町村組合ニ在リテハ町村組合農會ト稱スルコトヲ得

第二條 農會ハ法人トス  
本令ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ前項ニ掲ケタル名稱ヲ附スルコトヲ得ス

第三條 市町村農會ノ區域ハ市町村ノ區域ニ依リ郡農會ノ區域ハ郡ノ區域ニ依リ北海道農會又ハ府縣農會ノ區域ハ北海道又ハ府縣ノ區域ニ依リ帝國農會ノ區域ハ全國ヲ以テ其ノ區域トス但シ東京府農會ニ在リテハ小笠原島及伊豆七島ヲ除ク

特別ノ事由アルトキハ市町村農會ノ區域ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市農會ニ在リテハ地方長官、町村農會ニ在リテハ郡長ノ許可ヲ經テ其ノ區域ヲ定ムヘシ但シ市ノ區域ノ一部ヲ加ヘテ町村農會ノ區域ト爲サルトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ  
市ト郡トノ區域ニ涉リテ市町村農會ノ區域ノ設定アリタルトキハ第一項郡農會ノ區域モ亦自ラ之ニ伴ヒ



變更アリタルモノトス。市町村農會ノ組織ハ國家ノ一取組農會ノ組織ヲ亦自ラニ對シテ  
北海道ニ於テハ數郡ヲ以テ一郡農會ノ區域ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ北海道廳長官ノ許可ヲ經テ  
其ノ區域ヲ定ムヘシ

第四條 市町村農會ハ其ノ區域内ニ於テ國及公共團體ヲ除外耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及農業ヲ  
營ム者ヲ以テ之ヲ組織シ郡農會ハ其ノ區域内ノ町村農會ヲ以テ之ヲ組織シ北海道農會又ハ府縣農會ハ其  
ノ區域内ノ郡農會及市農會ヲ以テ之ヲ組織シ帝國農會ハ北海道農會及府縣農會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 市町村農會ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

一 設立者ノ數第四條ノ資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ナルコト

二 其ノ區域内ニ於テ設立者ノ占有又ハ所有スル耕地及牧場ノ面積カ私用ニ供スル耕地及牧場ノ總面積  
本ノ三分ノ二以上ナルコト

北海道、沖繩縣、小笠原島及伊豆七島ニ於テハ前項第二號ノ條件ヲ要セス

第六條 郡農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ町村總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

府縣農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數其ノ區域内ノ郡市總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

北海道ニ於ケル郡農會及北海道農會ヲ組織スヘキ農會ノ數ハ農商務大臣之ヲ定ム

帝國農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數道府縣總數ノ三分ノ二以上タルコトヲ要ス

第七條 農會成立シタルトキハ第四條ニ依リ當該農會ヲ組織スヘキ者ハ總テ其ノ農會ニ加入シタルモノト

看做ス

第八條 帝國農會以外ノ農會ノ設立者ハ會則ヲ定メ市町村農會ニ在リテハ五名以上ノ委員、其ノ他ノ農會

ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ會長ヨリ之ヲ行政廳ニ差出シ農會設立ノ許可ヲ受クヘシ

第八條ノ二 帝國農會ノ設立ヲ發起スル農會ハ會則案ヲ定メ第四條ニ依リ之ヲ組織スヘキ他ノ農會ニ對シ

同意ヲ求ムヘシ

第八條ノ三 帝國農會ノ設立ヲ發起シ及其ノ設立ニ同意シタル農會ハ各一名ノ創立委員ヲ選舉スヘシ其ノ

選舉ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第八條ノ四 帝國農會ノ設立ヲ發起シ及其ノ設立ニ同意シタル農會ノ數第六條第四項ニ定メタル條件ヲ具

備スルニ至リタリトキハ發起者ハ創立委員會ヲ召集シ委員長一名ヲ互選セシムヘシ

創立委員長就任シタルトキハ發起者ハ其ノ事務ヲ之ニ引繼クヘシ

第八條ノ五 創立委員會ニ於テハ會則ヲ議定スヘシ

會則ノ議定ハ道府縣總數ノ三分ノ二以上ニ相當スル創立委員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第八條ノ六 創立委員會ヲ終リタルトキハ創立委員長ハ會則ヲ農商務大臣ニ差出シ農會設立ノ許可ヲ受ク

ヘシ

第九條 會則ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ



一 名稱及市町村農會以外ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ名稱

二 事業

三 事務所

四 役員ノ職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定

五 會議ニ關スル規定

六 會費ノ分賦收入ニ關スル規定

七 財産ニ關スル規定

八 庶務及會計ニ關スル規定

九 會則ノ變更ニ關スル規定

十 解散ニ關スル規定

十一 第三條第一項ノ區域ニ依ラサル農會ニ在リテハ其ノ區域

會則ノ變更ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第十條 總會ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ農會ヲ組織スル農會ノ選舉

シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

農會ハ議員及議員事故アルトキ之ヲ代理スヘキ豫備議員各一名ヲ選舉スヘシ

第十一條 郡農會ノ議員及豫備議員ハ町村農會ノ總會ニ於テ役員タル會員中ヨリ、北海道農會及府縣農會

ノ議員及豫備議員ハ郡市農會ノ總會ニ於テ役員タル會員又ハ議員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ役員タル會員又

ハ議員中ヨリ選舉スルコト能ハサル場合ニ於テハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、郡農會ニ在リテハ

其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

帝國農會ノ議員及豫備議員ハ北海道農會及府縣農會ノ總會ニ於テ其ノ區域内ニ於ケル市町村農會ノ會員

及北海道農會、府縣農會ノ名譽會員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

帝國農會ノ創立委員ハ第一回ノ議員トシテ選舉セラレタルモノト看做ス

議員及豫備議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三箇年トス但シ補闕ノ爲選舉セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘

任期間トス

議員又ハ豫備議員ノ改選期ヲ同一ナラシムル爲必要アル場合ニ於テハ農會ハ會則ヲ以テ其ノ任期ヲ伸縮

スルコトヲ得

第十二條 議員及豫備議員ハ其ノ任期滿了ノ場合ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ職務ヲ行フモノトス

第十二條ノ二 農商務大臣ハ帝國農會ノ特別議員、地方長官ハ北海道農會又ハ府縣農會ノ特別議員ヲ命ス

ルコトヲ得但シ其ノ員數ハ其ノ農會ヲ組織スル農會ノ數ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三箇年トス但シ農商務大臣又ハ地方長官ハ任命ノ際特ニ之ヲ短縮スル

コトヲ得

第十三條 總會ノ決議カ法令若ハ會則ニ違背シ、公益ヲ害シ又ハ事業ノ執行上不適當ナリト認ムルトキハ



會長ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第十四條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキハ會長ハ專

決處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ總會ノ承認ヲ求ムヘシ

第十五條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ重要ノ事項ニ非サルモノハ會則ノ定ムル所ニ從ヒ會長ニ於テ書

面ニ依リ其ノ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ招集ニ代フルコトヲ得

第十六條 農會ハ農事ニ功勞アル者又ハ農事ニ關シ學識經驗アル者ヲ名譽會員ト爲スコトヲ得

名譽會員ハ議決權ヲ有セス

第十七條 農會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

會長 一名

副會長 一名

前項ノ外役員トシテ評議員及幹事ヲ置クコトヲ得

評議員及幹事ノ員數ハ會則ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ評議員ハ市町村農會ニ在リテハ七名、北海道農會、

府縣農會及郡農會ニ在リテハ五名、帝國農會ニアリテハ十五名、幹事ハ二名ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 會長、副會長及評議員ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員中、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ總會

ヲ組織スル者ノ中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉スヘシ但シ會長及副會長ハ名譽會員中ヨリ之ヲ選舉スルコト

ヲ妨ケス

帝國農會ノ評議員ハ議員中ヨリ其ノ三分ノ二、特別議員中ヨリ其ノ三分ノ一ヲ選舉スヘシ

幹事ハ會長之ヲ命ス

第十九條 會長ハ會務ヲ總理シ農會ヲ代表ス

副會長ハ會長ノ事務ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一分ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌ル

第二十條 農會ノ經費ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員ノ負擔トシ其ノ他ノ農會ニ在リテハ之ヲ組織スル

農會ノ負擔トス

市町村農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

市町村ハ必要ト認ムルトキハ監督官廳ノ許可ヲ得テ市町村農會ニ補助ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 農會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十二條 農會ハ毎年總會ニ於テ經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ二月末日迄ニ行政廳ノ認可ヲ受

クヘシ

經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ變更セムトスルトキハ總會ノ議決ヲ經テ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 農會ハ毎年六月三十日迄ニ前年度ノ經費ノ決算、財産目錄及會務ノ狀況ヲ會員又ハ農會ニ公



示シ且之ヲ行政廳ニ報告スヘシ

第二十四條 農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農事ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十五條 農會ハ農事ノ改良發達ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第二十六條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ農會ノ狀況若ハ書類ヲ検査シ又ハ農會ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 農會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違背スルトキハ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリ

ト認ムルトキハ帝國農會、北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農商務大臣其ノ他ノ農會ニ在リテハ地方長官ニ於テ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 決議ノ取消

二 役員ノ解職

三 事業ノ停止

四 解散

解職セラレタル役員ハ二箇年間役員タルコトヲ得ス

第二十八條 農會ニ於テ解散ヲ議決シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第二十九條 行政區劃ノ變更アリタルトキハ農會ノ區域モ亦自ラ變更アリタルモノトス

農會ノ屬スル地方區域他ニ合併又ハ分割セラレタルトキハ其ノ農會ハ解散ス

第三十條 前條ノ場合ニ於テ新地方區域内ニ既設ノ農會存立セサルトキハ舊農會ノ會員タリシ者並其ノ占有者ハ所有スル耕地及牧場ノ面積又ハ舊農會ヲ組織セシ農會ノ數第五條若ハ第六條ノ條件ニ該當スルトキハ直ニ新地方區域ニ依ル農會ヲ設立シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ行政廳ニ於テ假ニ會則ヲ定メ假役員及假議員ヲ選任シテ役員及議員ノ選任アル迄會務ヲ處理セシムヘシ

第三十一條 第三條第二項ノ場合ニ於テ郡長又ハ地方長官ノ許可ヲ經テ設立シタル農會ニシテ特別ノ事由消滅シタルトキハ郡長又ハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消スヘシ

農會ハ前項ノ取消ニ因リテ解散ス此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 農會ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙存續スルモノト看做ス

第三十三條 農會解散シタルトキハ會長及副會長其ノ清算人ト爲ル但シ會則ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ノ決議ヲ以テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政廳清算人ヲ選任ス清算人闕ケタルトキ亦同シ

第三十四條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メテ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

清算人ハ農會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス



第三十五條 行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算及財産處分方法ノ變更又ハ清算人ノ解職ヲ命スルコトヲ得

第三十六條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ農會ニ屬スル帳簿其ノ他ノ書類及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

第三十七條 第八條、第九條第二項、第二十二條、第二十三條、第二十八條、第三十條第二項及第三項、第三十三條第二項、第三十四條第一項、第三十五條及第三十六條ノ行政廳ハ町村農會ニ在リテハ郡長、

市農會及郡農會ニ在リテハ地方長官帝國農會北海道農會及府縣農會ニ在リテハ農商務大臣トス  
第三十七條ノ二 本令中郡農會ニ關スル規定ハ島農會ニ、市農會ニ關スル規定ハ北海道又ハ沖繩縣ノ區農會ニ、町村農會ニ關スル規定ハ町村組合又ハ町村ニ準スヘキ地ノ農會ニ之ヲ準用ス

本令ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島中島司ヲ置カサル島嶼ニ在リテハ東京府知事、北海道ニ在リテハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ在リテハ島司之ヲ行フ

附 則

第三十八條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ既設ノ農會ニシテ第五條又ハ第六條ノ條件ヲ具備スルニ至ラサルモノニ關シテハ第七條ノ規定ヲ適用セス

第三十九條 既設ノ農會ハ明治三十九年二月末日迄ニ本令ニ依リ總會ヲ開クヘシ其ノ總會ヲ開クニ至ル迄尙從前ノ規定ヲ適用ス

前項ノ總會ニ於テハ會則ノ變更ヲ議決シ其ノ議決シタル會則ニ依リ直ニ代表者、現ニ代表者ニシテ役員タル者ニ代ハルヘキ役員並會則ニ於テ評議員及副代表者ヲ置キタルモノニ在リテハ評議員及副代表者ヲ選舉スヘシ

現ニ代表者タル者及代表者ニシテ役員タル者ノ任期ハ新任者ノ就職スル日迄トス



# 農會令施行規則

(明治三十八年十一月六日農商務省令第二十四號)

第十三號 帝國農會令 (沿革) 明治四十三年十月一日農商務省令第二十一號改正

第一條 農會設立ノ許可申請書ニハ農會令第五條又ハ第六條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面

ヲ添附スヘシ

帝國農會設立ノ許可申請書ニハ前項ノ書面ノ外創立委員會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二條 農會設立ノ許可アリタルトキハ遲滯ナク經費ノ豫算及分賦收入ノ方法ヲ議決シ行政廳ノ認可ヲ申

請シ且役員議員及豫備議員ヲ選舉スヘシ農會令第三十條第三項ノ規定ニ依リ會則ノ認可アリタルトキ亦

同シ

第三條 經費ノ豫算及分賦收入ノ方法又ハ會則ノ變更認可申請書ニハ其ノ變更ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ

添附スヘシ

第四條 農會ニ於テ會則ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規定ヲ設ケタルトキハ其ノ都度行政廳ニ届出ツヘ

シ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四條ノ二 地方長官北海道農會又ハ府縣農會ノ特別議員ヲ命シタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名ヲ農商務大

臣ニ報告スヘシ

第五條 役員又ハ清算人ノ選任又ハ解任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名ヲ行政廳ニ届出ツヘシ



第六條 市町村農會ノ會員ハ代理人ニ依リ議決權ヲ行フ事ヲ得但シ會員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

第七條 農會令第二十六條又ハ第二十七條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲シタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ其ノ事由ヲ具シテ遲滯ナク之ヲ報告スヘシ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ其ノ旨ヲ報告ス

第八條 農會ノ設立又ハ解散アリタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ其ノ旨ヲ報告ス

第九條 農會ノ區域ニ變更アリタルトキ亦同シ

第十條 農會ノ設立又ハ解散アリタルトキハ行政廳ハ之ヲ告示スヘシ第十條ニ依リ届出ヲ受ケタルトキ亦同シ

第十一條 既設農會農會令第五條又ハ第六條ノ條件ヲ具備スルトキハ之ヲ證スル書面ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ其ノ條件ヲ具備スルニ至リタルトキ亦同シ

第十二條 前條ノ規定ニ依リ届出ヲ受ケタルトキハ郡長ハ地方長官ニ、地方長官ハ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十三條 本則ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島中島司ヲ置カサル島嶼ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

第十四條 帝國農會以外ノ農會ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

農會令施行規則

民法

第二章 法人ノ設立

第一節 法人ノ設立

第三十三條 法人ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ依ルニ非サレハ成立スルコトヲ得ス

第三十四條 祭祀、宗教、慈善、學術、技藝其他公益ニ關スル社團又ハ財團ニシテ營利ヲ目的トセサルモノハ主務官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ法人ト爲スコトヲ得

第三十五條 營利ヲ目的トスル社團ハ商事會社設立ノ條件ニ從ヒ之ヲ法人ト爲スコトヲ得

第三十六條 外國法人ハ國、國ノ行政區畫及ヒ商事會社ヲ除ク外其成立ヲ認許セス但法律又ハ條約ニ依リテ認許セラレタルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リテ認許セラレタル外國法人ハ日本ニ成立スル同種ノ者ト同一ノ私權ヲ有ス但外國人カ享有スルコトヲ得サル權利及ヒ法律又ハ條約中ニ特別ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第三十七條 社團法人ノ設立者ハ定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱



三 事務所

四 資産ニ關スル規定

五 理事ノ任免ニ關スル規定

六 社員タル資格ノ得喪ニ關スル規定

第三十八條 社團法人ノ定款ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルトキニ限り之ヲ變更スルコトヲ得但定款

ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

定款ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效力ヲ生セス

第三十九條 財團法人ノ設立者ハ其設立ヲ目的トスル寄附行爲ヲ以テ第三十七條第一號乃至第五號ニ掲ケ

タル事項ヲ定ムルコトヲ要ス

第四十條 財團法人ノ設立者カ其名稱、事務所又ハ理事任免ノ方法ヲ定メスシテ死亡シタルトキハ裁判所

ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第四十一條 生前處分ヲ以テ寄附行爲ヲ爲ストキハ贈與ニ關スル規定ヲ準用ス

遺言ヲ以テ寄附行爲ヲ爲ストキハ遺贈ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十二條 生前處分ヲ以テ寄附行爲ヲ爲シタルトキハ寄附財産ハ法人設立ノ許可アリタル時ヨリ法人ノ

財産ヲ組成ス

遺言ヲ以テ寄附行爲ヲ爲シタルトキハ寄附財産ハ遺言カ效力ヲ生シタル時ヨリ法人ニ歸屬シタルモノト

看做ス

第四十三條 法人ハ法令ノ規定ニ從ヒ定款又ハ寄附行爲ニ因リテ定マリタル目的ノ範圍内ニ於テ權利ヲ有

シ義務ヲ負フ

第四十四條 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任ニ其責

法人ノ目的ノ範圍内ニ在ラサル行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其事項ノ議決ヲ贊成シタル社

員、理事及ヒ之ヲ履行シタル理事其他ノ代理人連帶シテ其賠償ノ責ニ任ス

第四十五條 法人ハ其設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得

ス

法人設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十六條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 設立許可ノ年月日

五 存立時期ヲ定メタルトキハ其時期



六 資産ノ總額

七 出資ノ方法ヲ定メタルトキハ其方法

八 理事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ一週間内ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス登記前ニ在リテハ其變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十七條 第四十五條第一項及ヒ前條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其許可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第四十八條 法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 第四十五條第三項、第四十六條及ヒ前條ノ規定ハ外國法人カ日本ニ事務所ヲ設クル場合ニモ亦之ヲ適用ス但外國ニ於テ生シタル事項ニ付テハ其通知ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

外國法人カ始メテ日本ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ他人ハ其法人ノ成立ヲ否認スルコトヲ得

第五十條 法人ノ住所ハ其主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十一條 法人ハ設立ノ時及ヒ毎年初ノ三個月内ニ財産目錄ヲ作り常ニ之ヲ事務所ニ備ヘ置クコトヲ要ス

ス但特ニ事業年度ヲ設クルモノハ設立ノ時及ヒ其年度ノ終ニ於テ之ヲ作ルコトヲ要ス

社團法人ハ社員名簿ヲ備ヘ置キ社員ノ變更アル毎ニ之ヲ訂正スルコトヲ要ス

第二節 法人ノ管理

第五十二條 法人ニハ一人又ハ數人ノ理事ヲ置クコトヲ要ス

理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコト

ヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理

ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十六條 理事ノ缺ケタル場合ニ於テ遲滯ノ爲メ損害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢

事ノ請求ニ因リ假理事ヲ選任ス

第五十七條 法人ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ理事ハ代理權ヲ有セス此場合ニ於テハ前條ノ規定

ニ依リテ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第五十八條 法人ニハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ヲ以テ一人又ハ數人ノ監事ヲ置クコトヲ得



第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト
- 四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第六十條 社團法人ノ理事ハ少クトモ毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第六十一條 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

總社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ臨時總會ヲ招集スルコトヲ要ス但此定數ハ定款ヲ以テ之ヲ増減スルコトヲ得

第六十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條 社團法人ノ事務ハ定款ヲ以テ理事其他ノ役員ニ委任シタルモノヲ除ク外總テ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ行フ

第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第六十五條 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

總會ニ出席セサル社員ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ代理人ヲ出タスコトヲ得

前二項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第六十七條 法人ノ業務ハ主務官廳ノ監督ニ屬ス

主務官廳ハ何時ニテモ職權ヲ以テ法人ノ業務及ヒ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

### 第三節 法人ノ解散

第六十八條 法人ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款又ハ寄附行爲ヲ以テ定メタル解散事由ノ發生
  - 二 法人ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
  - 三 破産
  - 四 設立許可ノ取消
- 社團法人ハ前項ニ掲ケタル場合ノ外左ノ事由ニ因リテ解散ス
- 一 總會ノ決議
  - 二 社員ノ缺亡

第六十九條 社團法人ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ承諾アルニ非サレハ解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス但定款



ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス  
第七十條 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第七十一條 法人カ其目的以外ノ事業ヲ爲シ又ハ設立ノ許可ヲ得タル條件ニ違反シ其他公益ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ主務官廳ハ其許可ヲ取消スコトヲ得

七十二條 解散シタル法人ノ財産ハ定款又ハ寄附行爲ヲ以テ指定シタル人ニ歸屬ス

定款又ハ寄附行爲ヲ以テ歸屬權利者ヲ指定セス又ハ之ヲ指定スル方法ヲ定メサリシトキハ理事ハ主務官廳ノ許可ヲ得テ其法人ノ目的ニ類似セル目的ノ爲メニ其財産ヲ處分スルコトヲ得但社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依リテ處分セラレサル財産ハ國庫ニ歸屬ス

第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第七十五條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲メ損害ヲ生スル虞アルト

キハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十七條 清算人ハ破産ノ場合ヲ除ク外解散後一週間内ニ其氏名、住所及ヒ解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ又何レノ場合ニ於テモ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

清算中ニ就職シタル清算人ハ就職後一週間内ニ其氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ  
一 現務ノ結了

二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟

三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス



清算人ハ知レタル債権者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債権者ハ法人ノ債務完済ノ後未ダ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債権者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十二條 法人ノ解散及ヒ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第四節 罰 則

第八十四條 法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラル

一 本章ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 第五十一條ノ規定ニ違反シ又ハ財産目錄若クハ社員名簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 第六十七條又ハ第八十二條ノ場合ニ於テ主務官廳又ハ裁判所ノ検査ヲ妨ケタルトキ

四 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

五 第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

六 第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ



社團又ハ財團法人設立ノ件

(明治三十二年一月四日農商務省令第一號)

第一條 農商務省ノ主管ニ屬スル社團又ハ財團ニシテ民法第三十四條ノ規定ニ依リ法人トシテ設立スルノ許可ヲ得ントスルモノハ其ノ主タル事務所々在地ノ地方長官ヲ經由シテ農商務大臣ニ申請スヘシ  
第二條 前條ノ手續ヲ經テ設立シタル法人ヨリ農商務大臣ニ願出又ハ届出ヲナストキハ總テ其ノ主タル事務所々在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ

依ルコトヲ得ルノ件 (明治三十八年八月十七日勅令第二百一號)

(沿革) (明治四十二年九月十五日勅令第二百十九號改正)

政府ニ於テ産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



政府ニ於テ農會、畜産組合又ハ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入ヲ爲ストキ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件

(大正六九年月二十二日勅令第百六十二號)

政府ニ於テ農會、畜産組合又ハ畜産組合聯合會ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ストキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

得

附則

附則ニイモ附則ハ附則ニ依リテ施行スルニ付

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附則ニ依リテ畜産組合聯合會ヨリ物品ノ買入モ亦イテ附則ニ依リテ施行ス

附 録



收入及支出ニ大別シ且其ノ種目別金額ヲ明ニシ尙必要アルトキハ收入又ハ支出ヲ經常及臨時ノ二部ニ分チテ之ヲ作成スヘシ

收支計算書

(大正七年八月五日農商務省告示第二百五十二號)

事業報告書

(大正七年八月五日農商務省告示第二百五十二號)

(第一號表) 受寄物ノ品目別入出庫數量

品目	數量	現前年度末		入庫數量		出庫數量		現年度末		備考
		石	俵	石	俵	石	俵	石	俵	
玄米										
大麥										
小麥										















(第七號表) 受寄物ノ品目別運送及販賣ノ仲立及取次數量並手數料

品目	手數量	運送ノ仲立及取次		販賣ノ仲立及取次		備考
		數量	手數料	數量	手數料	
米						
粃						
大麥						
小麥						
稞						
大豆						
繭						

注意 備考欄ニハ販賣ノ仲立及取次ニ付法律第一條第一項ノ寄託者ノ寄託ニ屬スル物ト第一條第一項ノ寄託者ニ非サル者ノ寄託ニ屬スル物トノ區分ノ大要ヲ記スヘシ

(第七號表ノ二) 受寄物ノ品目別販賣ノ數量及手數料

品目	手數量	販賣		手數料	備考
		數量	手數料		
米					
粃					
大麥					
小麥					
稞					
大豆					
繭					

注意 産業組合カ農業倉庫業者タル場合ニ於テ其ノ販賣部ノ事業トシテ農業倉庫受寄物ノ販賣ヲ爲スモノニ在リテハ本表ヲ作成スヘシ











農業倉庫業務規程及公益法人定款例

農務局調査

(現存ノ農業倉庫中ヨリ最適當ト認ムル部分ヲ假ニ綜合シテ參考ニ供セムトス)

何々責任何々信用販賣組合農業倉庫業務規程

第一條 本組合ノ農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

一 受寄物ノ保管

二 受寄物ノ調製、改装及荷造

三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立

四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次

五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ組合員ニ非サル者ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本組合ニ於テ寄託ヲ受クル物品ハ當初ノ寄託者カ自ラ生産シタル穀物若ハ繭又ハ小作料トシテ受

ケタル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル(附金)

穀物ノ品目左ノ如シ

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆

第三條 本組合ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り前條第一項ノ規定ニ拘ラス前條第二項ニ掲

クル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

菜種、紫雲英、藁工品

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

一 組合員タル生産者ノ寄託

二 組合員ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託

三 組合員ニ非サル生産者ノ寄託

四 組合員ニ非サル者ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託

五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、繭、菜種、紫雲英、藁工品

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依

リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ農業倉庫證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル

請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ヲ及ホス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其

ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ



第七條 種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリ

タルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ二硫化炭素ノ燻蒸ヲ行フ

第九條 保管料ハ一月ニ付右ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ一月ニ滿タサル日數ニ付テモ

一月分ヲ徴收ス

一米、粳 〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕 二錢

一麥 〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕 二錢

一大豆 〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕 二錢

一藟 〔特定保管ノ場合〕 一石ニ付 〔金〕 十錢

一菜種、紫雲英 一俵、一呎ニ付 〔金〕 二錢

一藁工品 十貫ニ付 〔金〕 二錢五厘

第十條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナ

キトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求ニ應

スルコトアルヘシ

第十一條 受寄物ハ倉庫ノ都合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一 何郡何村 何々農會農業倉庫

二 何郡何村 株式會社何々倉庫

第十二條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附錄第一號樣式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ

縣又ハ同業組合ニ於テ檢査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第十三條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ附錄第二號樣式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス

第十四條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示

シテ之ヲ請求スヘシ

第十五條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依

ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十六條 寄託物ノ出入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十七條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物

ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第十八條 本組合ノ發行スル農事倉庫證券ハ附錄第三號樣式ノ倉荷證券ノ一種トス

證券ハ米又ハ麥ニ限リ寄託者ノ請求アリタルトキ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三條ノ規定ニ依ル受

寄物ニ對シテハ之ヲ發行セス



證券ノ發行ニ付テハ手數料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徵收ス

第十九條 寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニ依リ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ヲ呈示スヘシ

本組合保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第二十條 入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供スル擔保ハ本組合ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス

再交付ノ手數料ノ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條 本組合ハ寄託ヲ受ケタル穀物及繭ニ付テハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖寄託者ノ爲ニ包括火災保險ニ附スルコトアルヘシ

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十二條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本組合ト保險者トノ特約ニ依ル

火災保險金ハ必ス本組合ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

第二十三條 本組合ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠蟲、雨漏、水濡、竊盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 受寄物ニ付本組合ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム

第二十五條 混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人

五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シテ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十六條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位ヲ査定ス

前項ノ検査ハ縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト認メタルトキハ

縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス

第二十七條 受寄物ノ調製、改装若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ證券

ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス

第二十八條 受寄物ニ付調製、改装又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手數料額ヲ記入シ受

寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ船車ニ依ルノ必要アルトキハ一

定數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルモノトス

運送ノ仲立及取次ノ手數料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徵收ス

手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム



第三十條 受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ  
販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條 本組合ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ爲ス貸付ハ時價ノ八割以內日歩何錢何厘以內トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第三十二條 事業年度ハ一年トシ毎年一月一日ニ始マリ十二月末日ニ終ル

第三十三條 本組合ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス  
前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本組合ノ定款ノ規定ニ依ル  
(注意) 附錄様式及附屬規程ハ別ニ示サス

### 何々農會農業倉庫業務規程

第一條 本農會ノ農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製、改装及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次

### 五 金融ノ斡旋

第二條 本農會ニ於テ寄託ヲ受ケル物品ハ當初ノ寄託者カ自ら生産シタル穀物若ハ藪又ハ小作料トシテ受ケタル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル  
穀物ノ品目左ノ如シ

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆

第三條 本農會ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り前條第一項ノ規定ニ拘ラス前條第二項ニ掲クル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

菜種、紫雲英、藁工品

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

- 一 會員タル生産者ノ寄託
- 二 會員ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
- 三 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、藪、菜種、紫雲英、藁工品

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ農業倉庫證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル



請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス  
第六條 受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ニ及ホス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ

第七條 種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリタルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應ジニ硫化炭素ノ燻蒸ヲ行フ

第九條 保管料ハ一月ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ一月ニ滿タサル日數ニ付テモ一月分ヲ徴收ス

一 米、粳〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕二錢

一 麥 〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕二錢

一 大豆〔混合保管ノ場合〕 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 〔金〕二錢

一 藺 一石ニ付 〔金〕十錢

一 菜種、紫雲英 一俵、一呎ニ付 〔金〕二錢

一 藁 工 品 十貫ニ付 〔金〕二錢五厘

第十條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナ

キトキ第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求ニ應スルコトアルヘシ

第十一條 受寄物ハ倉庫ノ都合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一 何郡何村 何々農會農業倉庫

二 何郡何村 株式會社何々倉庫

第十二條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附録第一號様式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ

縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第十三條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ附録第二號様式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス

第十四條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示

シテ之ヲ請求スヘシ

第十五條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依

ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十六條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十七條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物

ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ



第十八條 本農會ノ發行スル農業倉庫證券ハ附録第三號様式ノ倉荷證券ノ一種トス

證券ハ米又ハ麥ニ限リ寄託者ノ請求アリルトキ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三條ノ規定ニ依ル受寄物ニ對シテハ之ヲ發行セス

證券ノ發行ニ付テハ手数料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徵收ス

第十九條 寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニ依リ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ヲ呈示スヘシ

本農會保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第二十條 入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供スル擔保ハ本農會

ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス

再交付ノ手数料ハ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條 本農會ハ寄託ヲ受ケタル穀物及繭ニ付テハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖寄託者ノ爲ニ包

括火災保險ニ附スルコトアルヘシ

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

保險料ハ實費トシテ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十二條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本農會ト保險者トノ特約ニ依ル

火災保險金ハ必ス本農會ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

第二十三條 本農會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害

ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 受寄物ニ付本農會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害ア

リタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム

第二十五條 混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人

五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シテ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十六條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位ヲ査定ス

前項ノ検査ハ縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト認メタルトキハ

縣又ハ同業組合ノ検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス

第二十七條 受寄物ノ調製、改装若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ證券

ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス

第二十八條 受寄物ニ付調製、改装又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手数料額ヲ記入シ受

寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

手数料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ船車ニ依ルノ必要アルトキハ一



定ノ數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルモノトス  
運送ノ仲立及取次ノ手數料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徴收ス  
手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條 本農會ハ何々銀行ト特約シ本農會ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ金融ノ斡旋ヲ爲ス

第三十二條 事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始マリ三月末日ニ終ル

第三十三條 本農會ノ農業倉庫事業ハ之ヲ特別會計トシ剩餘金アルトキハ左ノ如ク處分ス

- 一 百分ノ五十八事業經營基金ニ之ヲ充ツ
- 二 百分ノ三十八損失填補積立金ニ之ヲ充ツ
- 三 百分ノ二十八農業倉庫事業ニ從事シタル役職員ノ手當賞與ニ之ヲ充ツ

事業經營基金及損失填補積立金ノ管理及處分方法ハ別ニ之ヲ定ム

(注意) 附錄様式及附屬規程ハ別ニ示サス

### 社團法人何々農業倉庫業務規程

第一條 本倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
  - 二 受寄物ノ調製、改装及荷造
  - 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
  - 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
  - 五 金融ノ斡旋
- 第二條 本倉庫ニ於テ寄託ヲ受クル物品ハ當初ノ寄託者カ自ラ生産シタル穀物若ハ繭又ハ小作料トシテ受ケル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル
- 第三條 本倉庫ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り前條第一項ノ規定ニ拘ラス前條第二項ニ掲ケル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク
- 一 菜種、紫雲英、藁工品
- 第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス



- 一 生産者ノ寄託
- 二 土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
- 三 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

米、粃、大麥、小麥、稗麥、大豆、繭、菜種、紫雲英、藁工品

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ農業倉庫證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ヲ及ホス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ

第七條 種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリタルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ二硫化炭素ノ燻蒸ヲ行フ

第九條 保管料ハ一月ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ一月ニ滿タサル日數ニ付テモ一月分ヲ徴收ス

- 一 米、粃 混合保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 二 錢
- 一 特定保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 二 錢

- 一 麥 混合保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 一 錢
- 一 特定保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 二 錢

- 一 大豆 混合保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 一 錢
- 一 特定保管ノ場合 一俵、一呎又ハ一袋ニ付 金 二 錢

- 一 繭 一石ニ付 金 十 錢

- 一 菜種、紫雲英 一俵、一呎ニ付 金 二 錢

- 一 藁工品 十貫ニ付 金 二 錢 五 厘

第十條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求ニ應スルコトアルヘシ

第十一條 受寄物ハ倉庫ノ都合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

- 一 何郡何村 何々農會農業倉庫
- 二 何郡何村 株式會社何々倉庫

第十二條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附錄第一號様式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ

縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第十三條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ附錄第二號様式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス

第十四條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ



第十五條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依

ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十六條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十七條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物

ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニヨリ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第十八條 本倉庫ノ發行スル農業倉庫證券ハ附錄第三號様式ノ倉荷證券ノ一種トス

證券ハ米又ハ麥ニ限リ寄託者ノ請求アリタルトキ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三條ノ規定ニヨル受

寄物ニ對シテハ之ヲ發行セス

證券ニ付テハ手数料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徴收ス

第十九條 寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニヨリ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ入庫票又ハ證券

ヲ呈示スヘシ

本倉庫ハ保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第二十條 入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供スル擔保ハ本倉庫

ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス

再交付ノ手数料ハ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條 本倉庫ハ寄託ヲ受ケタル穀物及繭ニ付テハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖寄託者ノ爲ニ包

括火災保險ニ附スルコトアルヘシ

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十二條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本倉庫ト保險者トノ特約ニ依ル

火災保險金ハ必ス本倉庫ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

第二十三條 本倉庫ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害

ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 受寄物ニ付本倉庫ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害ア

リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム

第二十五條 混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人

五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シテ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十六條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位ヲ査定ス

前項ノ検査ハ縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト認メタルトキハ

縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス



第二十七條 受寄物ノ調製、改装若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ證券ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス

第二十八條 受寄物ニ付調製、改装又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手數料額ヲ記入シ受寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ船車ニ依ルノ必要アルトキハ一定ノ數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルモノトス

運送ノ仲立及取次ノ手數料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徴收ス

手數料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條 本倉庫ハ何々銀行ト特約シ本倉庫ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ金融ノ斡旋ヲ爲ス

第三十二條 事業年度ハ一年トシ毎年十一月一日ニ始マリ翌年十月末日ニ終ル

第三十三條 剩餘金ハ左ノ如ク處分ス

一 百分ノ五十八事業經營基金ニ之ヲ充ツ

二 百分ノ三十八損失填補積立金ニ之ヲ充ツ

三 百分ハ二十八本倉庫ノ定款ノ定ムル所ニ依ル

(注意) 附錄様式及附屬規程ハ別ニ示サス

### 社團法人何々農業倉庫定款

#### 第一章 總 則

第一條 本倉庫ハ農業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ左ノ事業ヲ行フ

一 農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

二 農産物ニ對スル金融ノ斡旋ヲ爲スコト

三 地主小作人間ノ調和ヲ圖ルコト

第二條 本倉庫ハ社團法人何々農業倉庫ト稱ス

第三條 本倉庫ノ事務所ハ之ヲ何々郡何々村何番地ニ置ク

第四條 本倉庫ノ事業年度ハ一年トシ毎年十一月一日ニ始マリ翌年十月末日ニ終ル

第二章 社員

第五條 本倉庫ノ社員ハ左ノ二種トス

一 正社員



一 特別社員

第六條 社員ニシテ出資一口以上五口迄ヲ有スル者ヲ正社員、六口以上ヲ有スル者ヲ特別社員トス但シ第十九條ノ規定ニ依リ出資ノ償却ヲ了リタルトキハ總テ正社員トス出資償却終了後ニ入社シタルモノ亦同

第七條 社員ハ其ノ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第八條 本倉庫ニ入社セムトスルモノハ申込書ヲ差出シ理事ノ承諾ヲ受クヘシ

第九條 社員其ノ持分ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人トノ連署ヲ以テ理事ノ承諾ヲ受クヘシ其ノ讓受人社員ニ非サルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第十條 死亡シタル社員ノ持分ハ之ヲ相續スルコトヲ得其ノ手續ハ届出ヲ以テ足ル

第十一條 社員ハ左ノ事由ニ因リ其ノ資格ヲ喪失ス

一 死亡

二 退社

三 除名

第十二條 社員退社セムトスルトキハ其ノ旨本倉庫ニ届出ツヘシ

第十三條 社員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 相當ノ事由ナクシテ一月以上出資拂込ノ義務ヲ怠リタルトキ

二 本倉庫ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三 犯罪其ノ他ノ行爲ニ因リ本倉庫ノ社員タル信用ヲ失ヒタルトキ

第十四條 社員タル資格ヲ喪失シタル者又ハ其ノ相續人ハ其ノ原因ノ何タルヲ問ハス出資ノ償却ヲ請求スルコトヲ得ス

第三章 資 産

第十五條 本倉庫ノ資産ハ社員ノ出資、寄附金及其ノ他ノ收入トス

第十六條 出資一口ノ金額ハ金五拾圓トス

出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金貳拾圓トシ設立又ハ入社ト共ニ之ヲ拂込ムモノトシ第二回以後ハ毎年二月末日迄ニ一口ニ付金拾圓ヲ拂込ムモノトス

第十七條 本倉庫ニハ事業經營基金及損失填補積立金ヲ設ク

第十八條 事業經營基金ニシテ出資ノ總額ヲ償却スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ其ノ基金中ヨリ先ツ社員ノ出資ヲ償却スルモノトス此ノ場合ニ於テハ出資ニ對シ利息ヲ附シ償却スルコトヲ要ス但シ元利合計出資額ノ二倍ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル利息ハ之ヲ附セス

第十九條 前條ノ規定ニ依リ出資ノ償却ヲ了リタル後入社スルモノハ出資ヲ爲スコトヲ要セス

第二十條 經費ノ收支豫算ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十一條 理事ハ每事業年度經過後遲滞ナク事業報告書及收支決算書ヲ作り監事ノ意見書ヲ具シ總會ノ



承認ヲ求ムヘシ

第二十二條 毎年度ノ剩餘金ハ左ノ如ク之ヲ處分ス

一 百分ノ五十八事業經營基金ニ之ヲ充ツ

二 百分ノ三十八損失填補積立金ニ之ヲ充ツ

三 百分ノ二十四役員ノ手當賞與ニ之ヲ充ツ

第四節 役員及職員

第二十三條 本倉庫ニ理事五名監事參名ヲ置ク

第二十四條 理事ハ專務理事一名ヲ互選ス

專務理事ハ本倉庫ノ事務ヲ總理シ本倉庫ヲ代表ス

專務理事事故アルトキハ理事中ヨリ代理者一名ヲ定ム

第二十五條 理事及監事ハ出資償却終了前ニ於テハ特別社員中ヨリ、出資償却終了後ニ於テハ正社員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十六條 理事ノ任期ハ三年監事ノ任期ハ二年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

第二十七條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫ス

ルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ行フ

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ有給ト爲スコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本倉庫ニ事務員三名ヲ置キ理事之ヲ任免ス事務員ハ理事及監事ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

### 第五章 總會

第三十條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回十一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告ス

ル爲必要ト認メタルトキ

三 社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第三十一條 總會ノ招集ハ少クとも五日日前ニ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ社員ニ通知スル

コトヲ要ス

前項ノ通知書ニ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十二條 總會ハ總社員二分ノ一以上出席スルニ非ザレハ議事ヲ開クコトヲ得ス



第三十三條 總會ノ決議ハ出席シタル社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ定款ノ變更及解散ノ決議ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第三十五條 社員ハ代理人又ハ書面ヲ以テ表決權ヲ行フコトヲ得但シ社員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス且一人ニテ三人以上ヲ代理スルコトヲ得ス  
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ本倉庫ニ差出スヘシ

第三十六條 總會ノ議長ハ第三十條第三項第二號ノ場合ヲ除クハ外專務理事之ニ當ル專務理事事故アルトキハ第二十四條第二項ノ規定ニ依ル理事之ニ當ル第三十條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ二人以上ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依リ、互選ニ依リテ定メ難キ場合ニハ年長順ニ依ル

第三十七條 總會ノ決議録ハ議長之ヲ作り決議事項ノ外會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス  
決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス

第三十八條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム  
第六章 解散

第三十九條 本倉庫解散シタルトキハ理事清算人トナル

第四十條 清算ニ依リ殘餘財産ヲ生シタルトキハ社員ノ出資シタル額ニ應シ之ヲ分配ス但シ第十九條ノ規

定ニ依リ償却ヲ了リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附 則

第四十一條 本倉庫設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

監	監	監	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事	事
何	何	何	何	何	何	何	何	何
某	某	某	某	某	某	某	某	某



第四十一號 本會專設立官領ノ野事又並事々式々ノイ式ノ味ノ出ノ箱一回派當應會ニ於テノマニ送ル  
 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷  
 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某 某

大正八年六月二十二日印刷  
 大正八年六月二十四日發行

農商務省農務局

印刷者 石丸鶴吉  
 東京市京橋區鈴木町二番地

印刷所 東亞印刷株式會社  
 東京市京橋區鈴木町二番地  
 電話京橋 二二三四番



14  
15

147  
172

東京府 二二五番  
二二四番

田圃前 東亞田圃村友會棟

東京市京橋區橋本町二番組

田圃前 仁成園 吉

東京市京橋區橋本町二番組

### 農商務省農務司

大正八年六月二十四日發行

大正八年六月二十二日田圃



14  
17



147  
172





18